

新まちづくり計画 ( H16 ~ 18 ) 事業総括調書

施策体系コード	3-3-2	4-2-4	事業名	2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会補助 (2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催)
担当	観光文化局スポーツ部企画事業課 今野 211-3044			
全体計画 ( 当初 )				
事業内容	大会名:2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会 主催:国際スキー連盟(FIS) 主管:札幌市、(財)全日本スキー連盟 運営主体:(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会 開催期間:2007年(平成19年)2月22日~3月4日 開催地(競技場):札幌市、(札幌ドーム、宮の森ジャンプ競技場、大倉山ジャンプ競技場、白旗山競技場) 競技種目:ジャンプ、ノルディックコンパインド、クロスカントリーの3競技の18種目		<年度別の事業内容>	
			平成16年度 大会基本計画策定、オーベルストドルフ大会視察 平成17年度 各業務計画の策定、札幌プレ大会開催 平成18年度 プレ大会の検証、本大会開催	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	基本計画策定するとともに関係機関・団体との円滑な連携体制を構築した。 広報活動では、ホームページによる情報発信、パンフレット等の配布、ポスターの掲示、雪まつりの大雪像におけるPRイベントの開催、ジャンプ競技の公開練習会などを実施した。		関係機関・団体の協力のもと運営体制を確立するとともに、市内はもとより、国内外に向けた広報活動を実施した。また、18年1月、3月に行われたFISワールドカップ大会をプレ大会と位置付け開催した。	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)	
	広報活動の強化やボランティア組織の構築、一方、競技運営に関しては、プレ大会の検証をもとに19年2月に本大会を開催した。		運営自体は滞りなく終了し、FIS会長からもその運営の良さを評価された。アジア初のノルディックスキー世界選手権大会を約10万人の方が観戦した。	
		課題		
		大会自体は終了したが、この大会が札幌におけるウィンタースポーツの活性化に繋げることができるかが課題である。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
平成19年度中に、財団法人2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会を解散する予定である。19年度においては財団の清算事務が発生するため、これに係る派遣人件費等について補助を行う。				

